

学校ICT環境整備事業について

文部科学省「GIGAスクール構想」(令和元年12月発表)

Society5.0(※)時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境の整備は遅れており、自治体間の格差も大きい。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務。このため、1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する(中略)、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させる。

※狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く、サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。

全国の自治体の対応

学校の通信環境の整備(令和2年度まで)

児童生徒1人1台のタブレット端末整備(令和5年度まで)

加速化

令和2年度中に整備

コロナ禍における学びの保障のため、文部科学省がGIGAスクール構想を加速化

旭川市の整備等状況(令和2年度)

旭川市教育委員会学校教育部

※予算なし

教育指導課

タブレット端末の活用検討

学校ICT環境整備費

学務課

タブレット端末等整備

学校施設課

校内通信環境等整備

旭川市の運用管理等(令和3年度~)

旭川市教育委員会学校教育部

※予算なし

教育指導課

タブレット端末の活用支援

学校ICT環境整備費

学務課

ICT環境維持管理

専門性が
必要な業務

外部委託

民間事業者

ICT関係事業者

通信事業者

- ・活用支援
- ・運用管理, 障害対応

- ・活用, 運用管理の相談
- ・障害対応依頼

旭川市立小中学校

授業等におけるタブレット端末やデジタル教材の活用

タブレット端末等の日常的管理

学級閉鎖等での家庭学習支援